
「共に生き 未来につなぐ 安田町 ～みんなで創る 共生空間～」

の実現に向けて



近年の地方を取り巻く環境は、多くの地域で少子高齢化や過疎化が進行するなど、年々その厳しさを増しておりますが、IoT や AI などの最新テクノロジーを活用した便利な社会（Society5.0）や、持続可能な開発目標（SDGs）に関連した施策の展開など、令和時代の幕開けとともに、地方自治は新たな局面を迎えています。

先の町総合振興計画「安田の夢プラン」における令和元年度までの10年間では、南海地震対策の推進をはじめ、移住定住施策による人口対策、地域公共交通の取り組みを通じた移動手段整備、ふるさと納税による財源確保のほか、地域の防災拠点施設となる新庁舎の建設着工など、町民の暮らしとまちの将来を支える基盤整備を着実に進めてきました。

この度、令和2年度からの10年間を計画期間として策定しました「安田町総合振興計画」では、基本理念を「共に生き 未来につなぐ 安田町 ～みんなで創る 共生空間～」と定め、住民一人ひとりが主役となった、住民目線による対話と協働のまちづくりを進めてまいります。

また、本計画期間中の令和7年2月には、町政施行100周年の大きな節目を迎えますことから、まもなく完成を迎える新庁舎を核としたまちの賑わい創出のほか、清流安田川に代表される豊かな自然環境を活かし、持続可能な地域社会の構築に向け、住民と行政が一体となって、これからの地域づくりに邁進する所存です。

結びに、本計画の策定にあたり、計画案をご審議いただきましたやすだまちづくり協働委員会委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。

令和2年3月

安田町長 黒岩之浩
